

令和4年12月2日

土木部施設保全課

江東区若洲風力発電施設の今後の取扱いについて

1 施設の概要

若洲風力発電施設は、自然エネルギー活用の一施策であるとともに、地球温暖化対策に取り組むシンボルとして、区立若洲公園内に建設された。

所在地：区立若洲公園内（若洲三丁目2番1号）

メーカー：ノルデックス社（ドイツ製）

定格出力：1,950kW

年間発電量：270万kWh（想定）

建設年月：平成16年3月

（令和6年3月で耐用年数である20年を経過）

2 現在の状況

施設全体の経年劣化が進行しており、昨年8月から現在までの間に発電停止を伴う故障が4回発生し、計2か月ほどしか発電できていない。本年7月28日よりブレード角度制御機能に不具合が発生したため発電を停止しているが、当該部品は生産終了となっており、部品入手は困難な状況である。

3 今後の取扱い

現在の若洲風力発電施設は、以下の理由により撤去とする。

- (1) 経年劣化が進行し、補修部品の入手も困難な状況であり、既存施設を維持していくことが難しい。
- (2) 万が一、本施設が破損、倒壊した場合、公園内および周辺道路へ甚大な影響を及ぼす。

本施設撤去後の代替施策等については、若洲公園整備方針による。

4 今後の予定

令和5年度 関係省庁への報告、撤去工事設計

令和6年度 撤去工事